

平成29年度 健康保険組合 決算見込のポイント

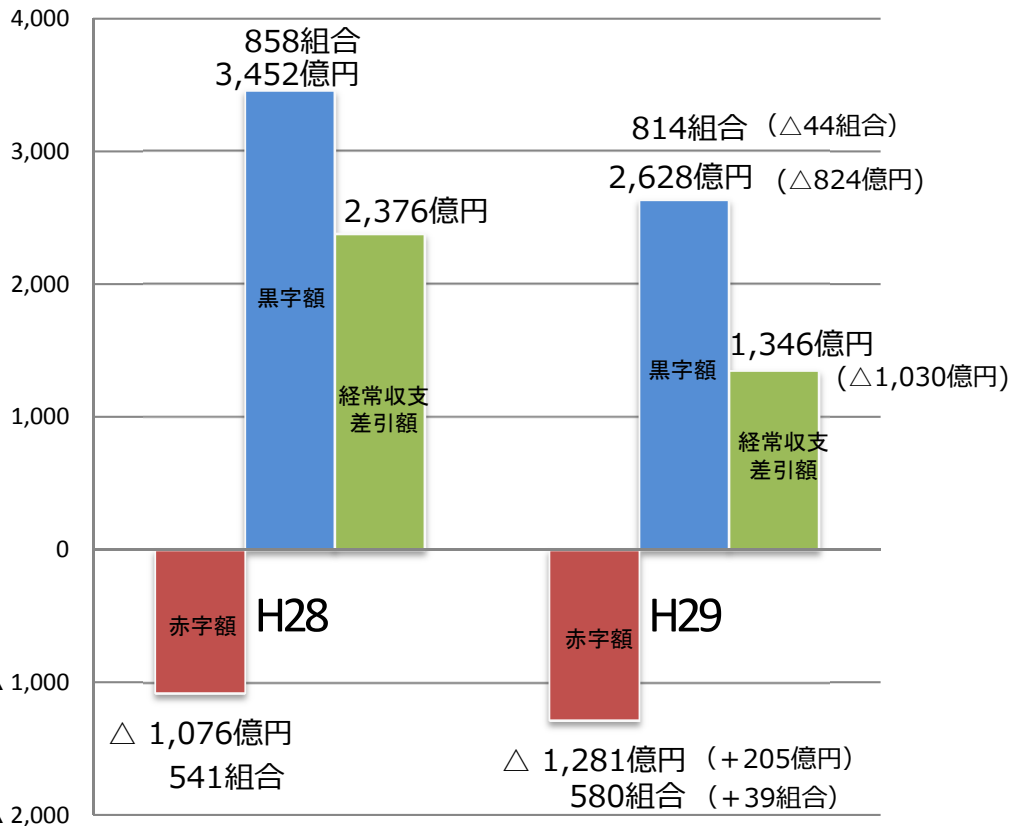
健保組合の財政状況

■平成29年度は保険料収入増を上回る拠出金負担の大幅な増加により、経常黒字4割減の1,346億円。赤字組合は39組合増の580組合。

■現行の高齢者医療制度導入前の平成19年度からの10年間で、▽被保険者1人当たり年間保険料負担額は10万5,960円(27.6%)の増加、▽被保険者1人当たり拠出金負担額は6万6,331円(45.1%)の増加。

赤字・黒字・経常収支差引額の状況

(億円)



■赤字組合の赤字総額 ■黒字組合の黒字総額 ■経常収支差引額

29年度と19年度(現行の高齢者医療制度導入前)との10年間の比較

	29年度	19年度	増減数	伸び率 (%)
組合数	1,394	1,518	△124	—
被保険者数	16,512,901人	15,771,690人	741,211人	4.70
平均保険料率	9.167%	7.308%	1.859	25.44
被保険者一人当たり 年報酬総額	557万5,785円	561万5,340円	△39,555円	△0.70
保険料収入 総額	8兆0,843億円	6兆0,502億円	2兆0,341億円	33.62
被保険者1人当たり額	489,572円	383,612円	105,960円	27.62
保険給付費 総額	4兆0,072億円	3兆2,838億円	7,234億円	22.03
被保険者1人当たり額	242,673円	208,209円	34,464円	16.55
拠出金 総額	3兆5,265億円	2兆3,221億円	1兆2,044億円	51.87
被保険者1人当たり額	213,560円	147,229円	66,331円	45.05
義務的経費に占める 拠出金負担割合	47.35%	42.14%	5.21%	—
50%超の組合数	490	99	391	—
50%超の組合の割合(注2)	35.2%	6.5%	28.7%	—

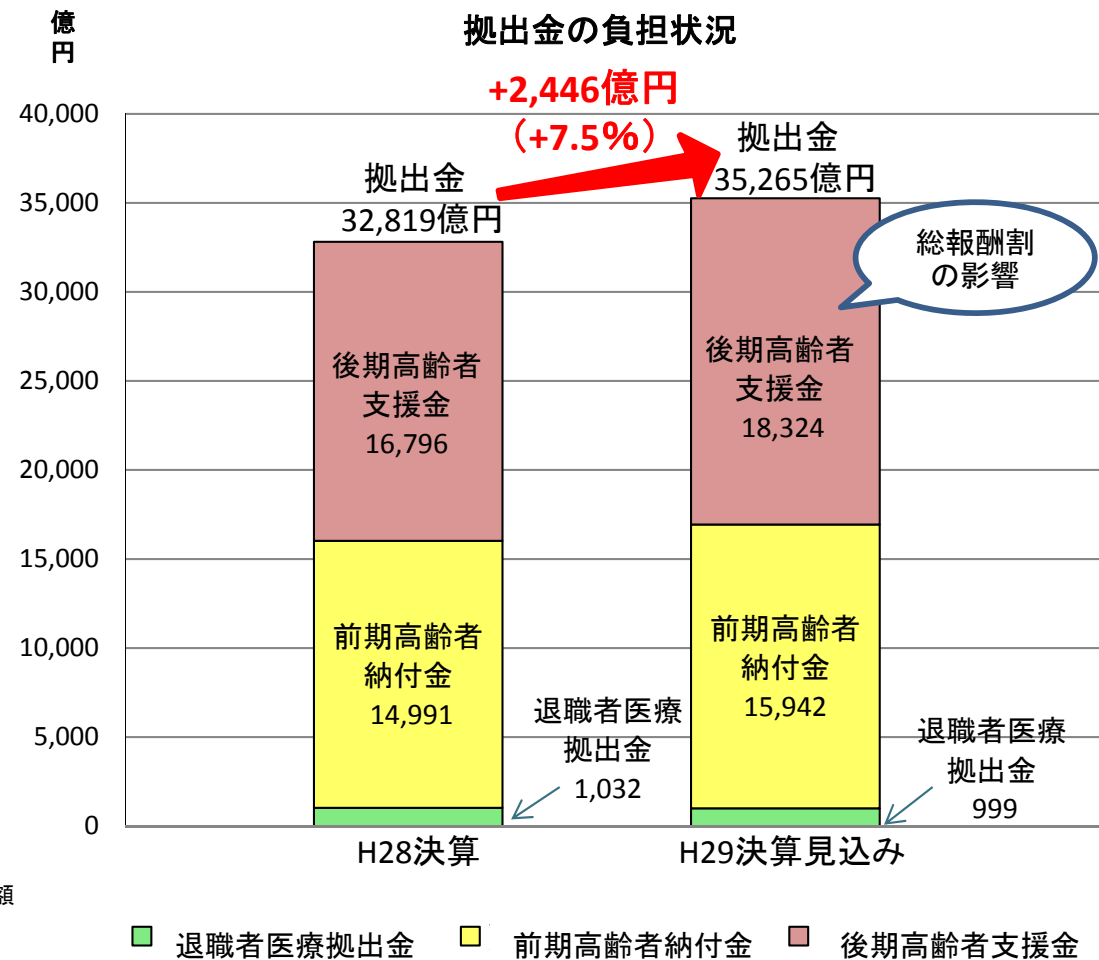
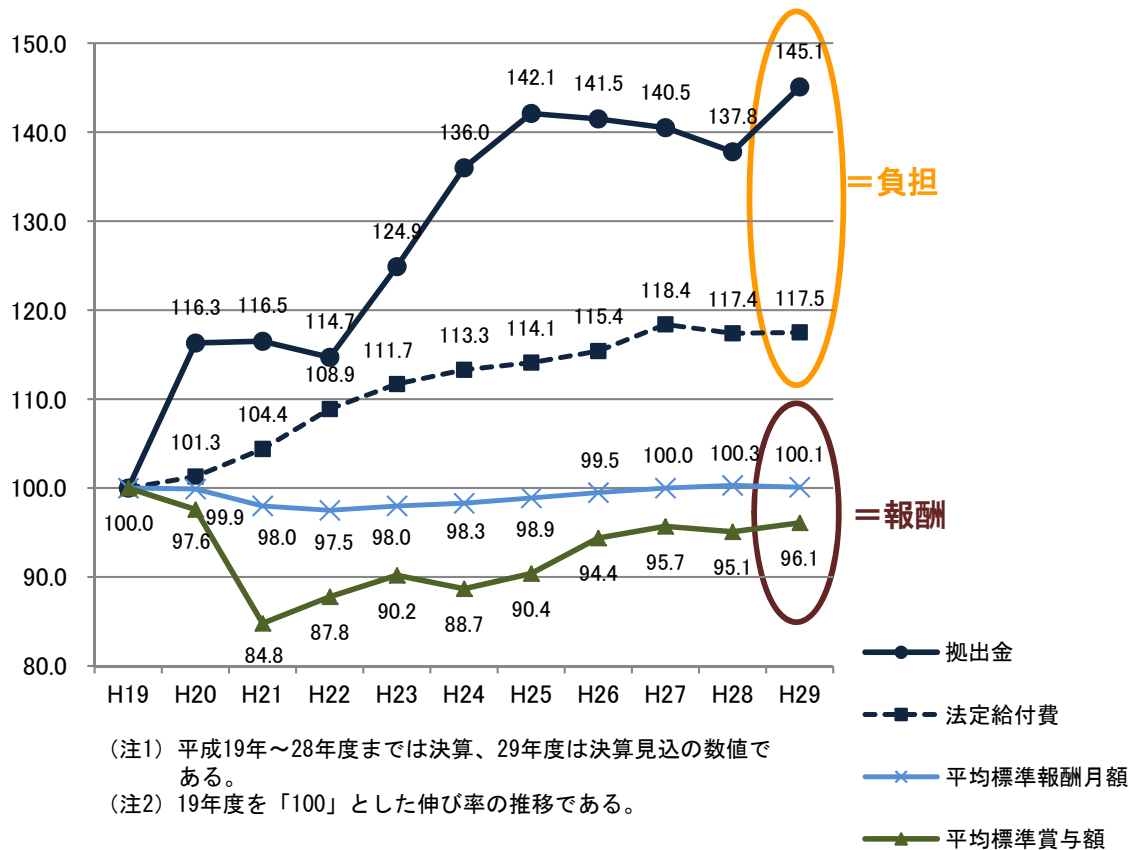
(注1)平成19年度は決算、29年度は決算見込の数値である。

(注2)該当年度の全組合における割合。

高齢者医療のための拠出金の大幅な増加

- 被保険者の報酬は伸び悩む一方で、保険給付費は継続して伸び、高齢者医療の拠出金の負担が大幅に増加。
- 平成29年度の拠出金の総額は3兆5,265億円で、後期高齢者支援金の全面総報酬割などの影響により前年度比2,446億円(7.5%)増加。

被保険者1人当たり法定給付費、拠出金および月額、賞与額の推移



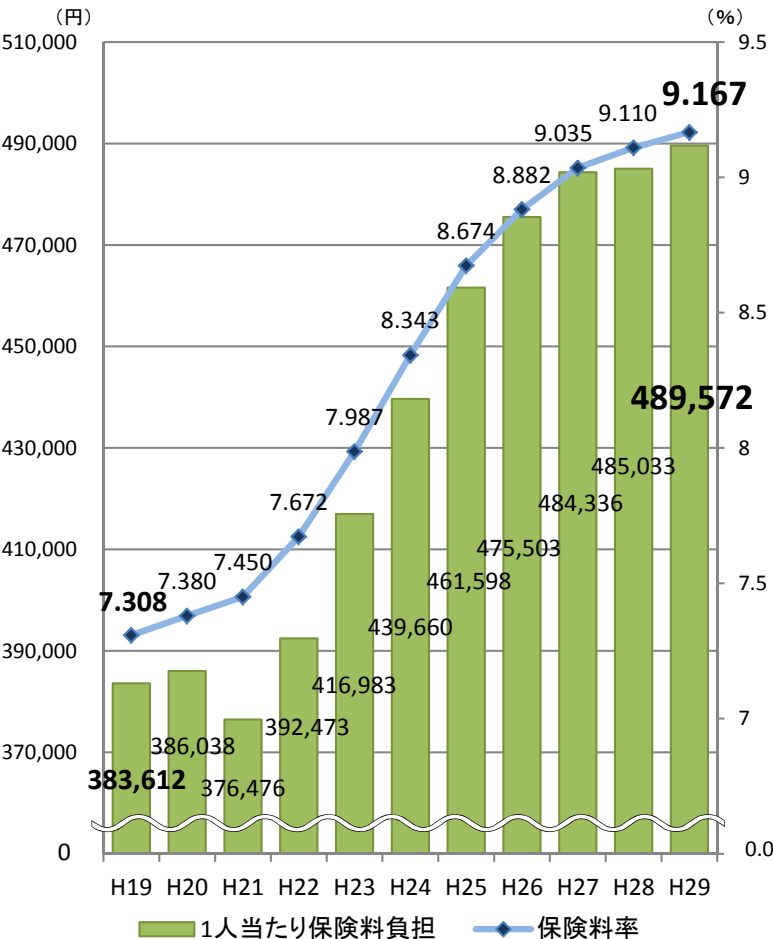
健保組合の保険料負担と拠出金負担の状況

・平成29年度の被保険者1人当たり保険料は、48万9,572円(前年度比4,539円増)。現行の高齢者医療制度導入前の19年度と比べると10万5,960円(27.62%)も増えている。

・保険料率が10%以上の健保組合が急増(協会けんぽの平均保険料率=10%)
 ・解散組合12組合(H29.4~H30.4)の平均保険料率は10.403%(10%以上は10組合)

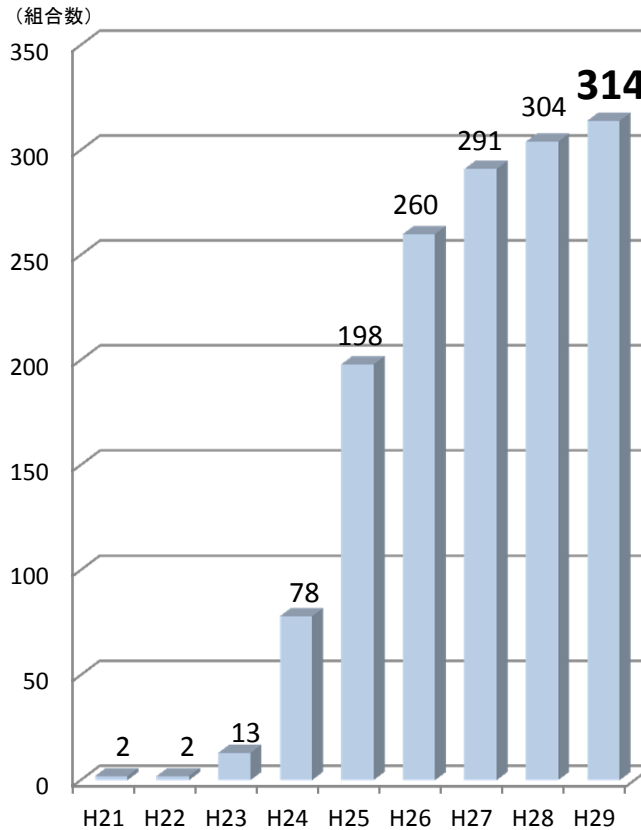
・義務的経費の50%超を高齢者医療に拠出している健保組合は前年度の363組合から490組合(全体の35.2%)に増加。拠出金負担割合の平均値は47.35%。

1人当たり年間保険料収入および平均保険料率の推移



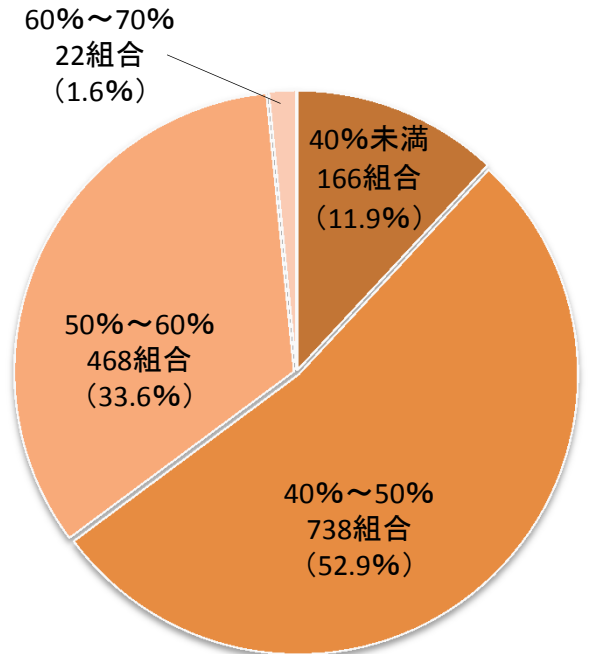
(注) 19~28年度までは決算、29年度は決算見込の数値

保険料率が10%以上の健保組合数の推移



(注) 21~28年度までは決算、29年度は決算見込の数値

義務的経費(法定給付費と高齢者医療への拠出金)に占める拠出金負担割合別組合数



拠出金負担割合の平均値は47.35%

(注1) 平成29年度決算見込データ1,394組合の数値
 (注2) ()内は1,394組合における構成比
 (注3) 端数処理のため、計数が整合しないことがある

健保組合の介護保険への負担状況

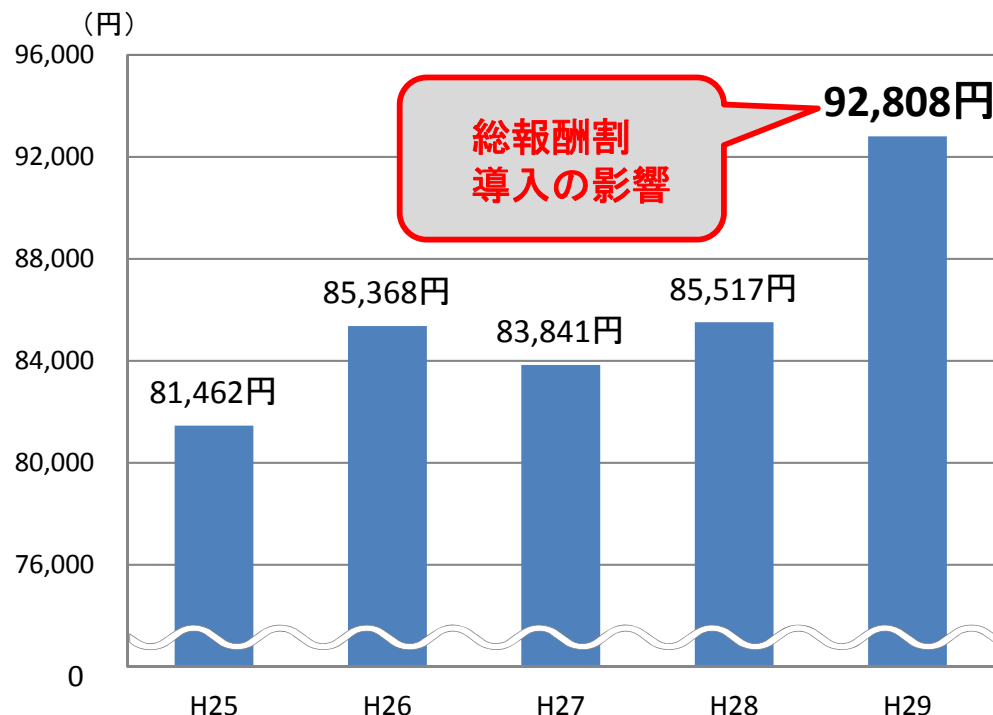
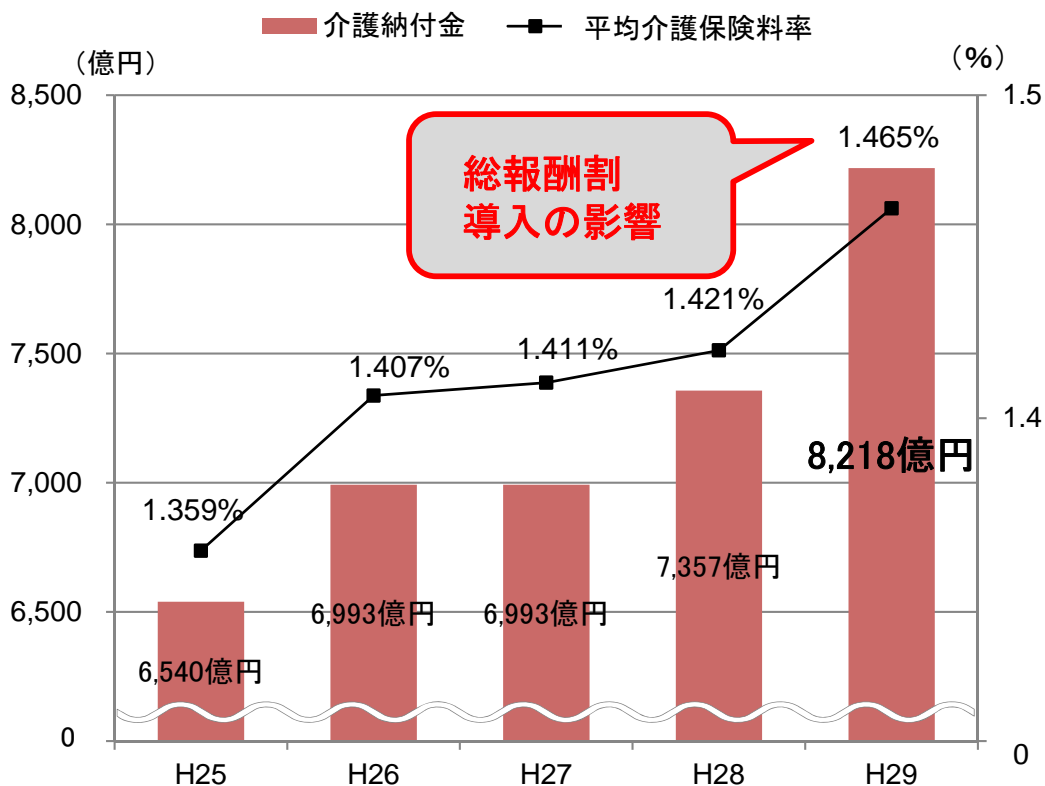
平成29年度の介護納付金は8,218億円で、前年度比861億円(11.70%)と大幅に増加している。また、1人当たり額は9万2,808円で、前年度比7,291円(8.53%)増加している。

平均保険料率は1.465%で、前年度比0.044ポイント増加した。この5年間で、0.106ポイント増加している。

1人当たりの介護納付金額(9万2,808円)は、この5年で11,346円(13.9%)増加している。

過去5年間の平均介護保険料率と介護納付金の推移

1人当たり介護納付金額の年次推移

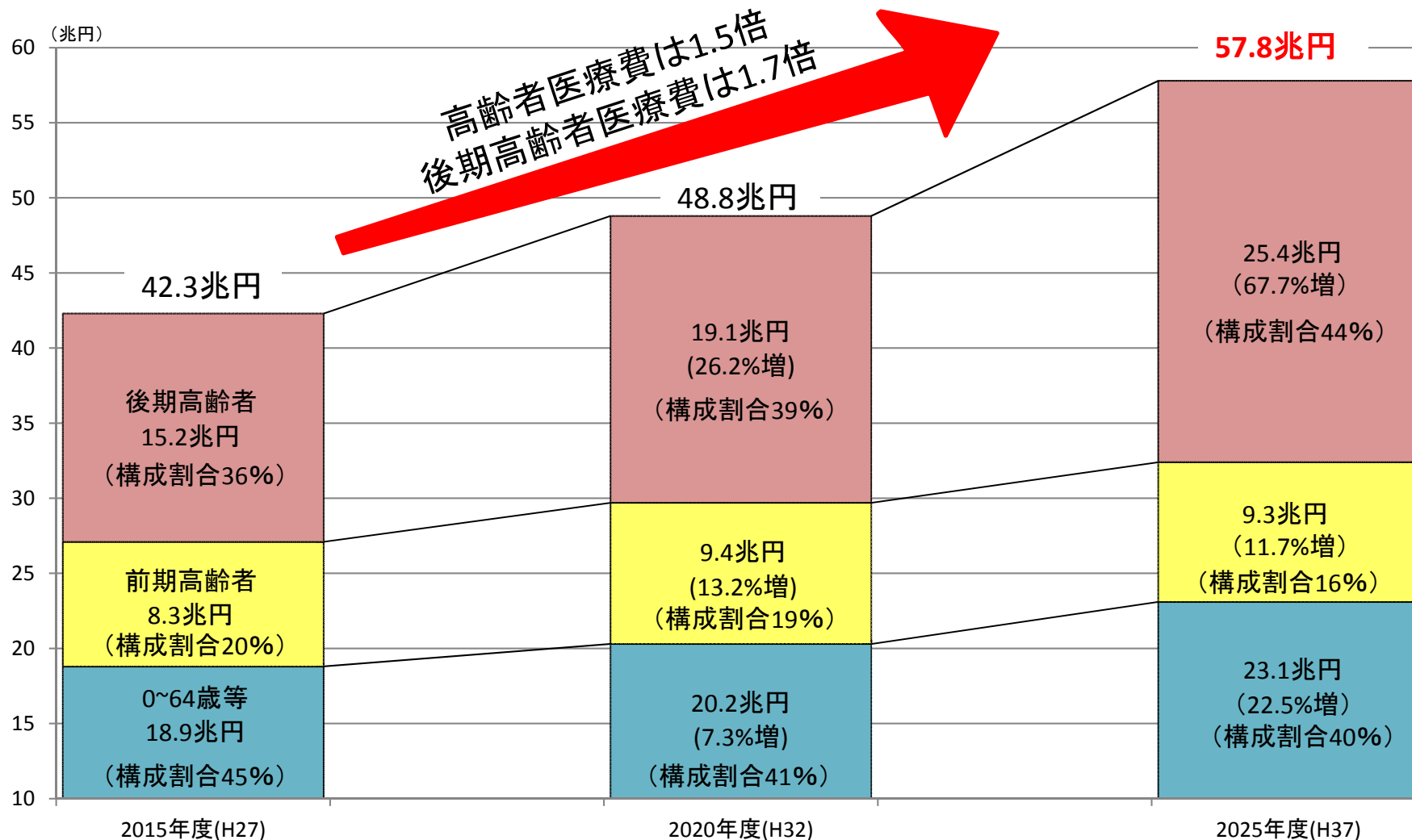


※1人当たり額とは、介護2号被保険者たる被保険者及び特定被保険者を合計した1人当たりである。

(参考)

国民医療費の推計

国民医療費は2015年度の42.3兆円から2025年度には1.4倍の57.8兆円に増加。
このうち、65歳以上の高齢者の医療費は、23.5兆円から34.7兆円に1.5倍に増加。
医療費全体に占める割合も55%から60%に高まる。
特に後期高齢者医療費は15.2兆円から25.4兆円に1.7倍に急増。



()内は2015年度からの伸び率(端数調整により合わないことがある)

(2017年9月発表の健保連推計)

(参考) 健保組合の法定給付費と拠出金、保険料率の推計

2025年度には、高齢者医療のための拠出金の額が法定給付費を上回る。

2015年度から2025年度にかけて、**法定給付費は16.5%増、拠出金は38.6%増。**

また、健保組合の経常収支均衡保険料率(平均)は11.8%にまで上昇する。

健保組合の義務的経費(法定給付費+拠出金)推計

